

県社協の上木雄二副会長（右）から感謝状を贈られたむさし証券の野村眞社長（左）さいたま市浦和区の彩の国すこやかプラザ（県社協提供）



衣類バンクに 約340点を寄贈

むさし証券

むさし証券（本社・さいたま市大宮区、野村眞社長）は、さいたま市浦和区の彩の国すこやかプラザで、県社会福祉協議会（県社協）と県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会が共同実施している「衣類バンク事業」に、衣類や雑貨など計約340点を寄贈した。

同社は2020年から寄付を続けており、今回で8回目。毎回社員間で募り、集まった衣類を県社協に贈っている。贈呈式にはむさし証券の野村社長、森本美和SDGs推進室長、同室の引田真琴さんが出席。県社協の上木雄二副会長から感謝状が贈られた。野村社長は「支援の輪が広がるよう今後も寄付を続けていきたい」と話した。

衣類バンク事業は、生活困窮家庭に新品や未使用の子ども服などを無償で届けるもので、5年前から始まった事業。昨年度は509件4213点が寄せられた。

県社協は「自宅に眠っている新品や未使用の子ども服があれば、ぜひ寄付してほしい」と呼びかけている。衣類バンクの問い合わせは、県社協生活支援課（☎048・822・1249）へ。（高梨肇）